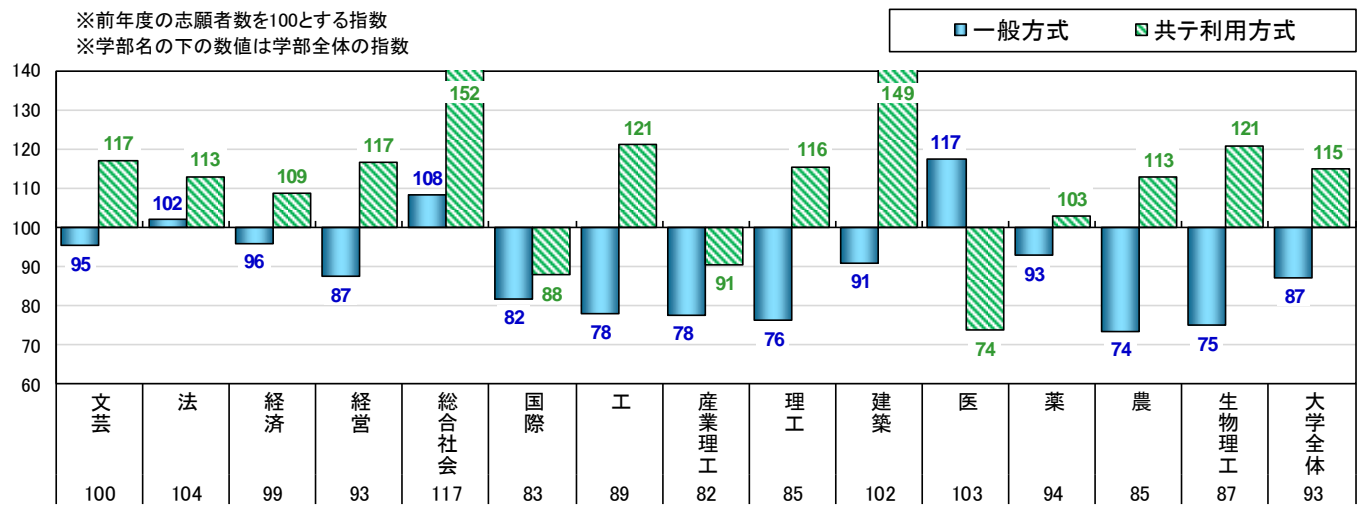


2021 年度入試状況分析【私立大】

近畿大: 大学全体では3年連続減少 理系学部の減少目立つ 一般:-14,358人 共テ:+4,868人



入試変更点
 選抜方法：文芸(芸術/造形芸術)、国際(国際/東アジア)、医、薬を除く…<共テ併用・A日程>新規実施
 文芸、産業理工…<セ・PC・後期>実施→廃止
 入試科目：工…<共テ併用・B日程> 選択科目から歴公除外
 <セ>(国 or 歴公 or 数 or 理 or 外)→2、<個>(数 or 理 or 外)→2
 →<共テ>(国 or 数 or 理 or 外)→2、<個>数 or 理 or 外

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、9,490人(94)の減少で3年連続減少だが、志願者数は8年連続で全国最多。文理別では、理系8学部合計(88)で減少、文系6学部合計(99)が前年度並。学部別では、総合社会(117)が前年度大幅減少の反動で大幅増加、法(104)、医(103)がやや増加、建築(102)、文芸(100)、経済(99)が前年度並だが、その他8学部は全て減少。方式別では、共通テスト利用方式4,868人(115)が大幅増加、一般方式14,252人(87)は減少と対照的。

<一般方式>

- 文芸(95)**は、3年連続減少。学科・専攻別では、(文/英語英米文)(116)は、前年度の反動による増減が継続、(文化デザイン)(116)は、2年連続減少の反動でいずれも大幅増加。(芸術/舞台芸術)(69)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少、(文化・歴史)(83)は、大幅減少で4年連続減少、(芸術/造形芸術)(89)は前年度大幅増加の反動で減少、(文/日本文学)(96)はやや減少で3年連続減少。
- 法(102)**は、微増で4年ぶりに増加。方式別では、<後期>(105)がやや増加、<前期>(101)は前年度並。
- 経済(96)**は、系統への人気低下で3年連続減少。学科別では、(総合経済政策)(111)が、2年連続大幅減少の反動で増加。(経済)(90)は減少、(国際経済)(98)は前年度並。
- 経営(87)**は、前年度2年ぶりの増加から再び減少。学科別では、(商)(84)は大幅減少、(経営)(88)は減少で、いずれも前年度の反動による増減が継続。(会計)(87)は減少で3年連続減少、(キャリア・マネジメント)(90)も減少で2年連続減少。
- 総合社会(108)**は、系統への人気は低下しているが、前年度大幅減少の反動で増加。特に、学科・専攻別では(総合社会/環境・まちづくり系)(129)の大幅増加が目立った。
- 国際(82)**は、コロナ禍の影響を強く受けている系統だが、大幅減少で4年連続減少。専攻別では、(国際/グローバル)(81)は、大幅減少で4年連続減少。(国際/東アジア)(86)は、前年度大幅増加の反動で減少。
- 工(78)**は、広島キャンパス設置の学部だが、大幅減少で2年連続減少。6学科全てが減少し、特に(ロボティクス)(68)の大幅減少が目立った。
- 産業理工(78)**は、福岡キャンパス設置の学部だが、前年度まで11年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(生物環境化)(62)、(電気電子工)(71)、(建築・デザイン)(75)が大幅減少。(経営ビジネス)(87)、(情報)(92)は減少。
- 理工(76)**は、大幅減少で5年ぶりの減少。学科・コース別では、(応用化)(65)、(理/物理学)(65)、(電気電子工)(70)、(機械工)(75)、(情報)(76)、(理/数学)(78)が大幅減少。(生命科学)(86)、(理/化学)(91)、(社会環境工)(92)は減少。
- 建築(91)**は、2年連続減少。方式別では、<後期>(106)がやや増加で、前年度の反動による増減が継続。<前期B>(82)は8年連続増加の反動で大幅減少、<前期A>(96)はやや減少だが2年連続減少。
- 医(117)**は、大幅増加で2年連続増加。方式別では、<前期A>(131)は4年連続減少の反動で大幅増加、<後期>(95)は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少に留まった。
- 薬(93)**は、系統への人気低下が続き4年連続減少。学科別では、(創薬科学)(85)は2年連続増加の反動で大幅減少、(医療薬)(95)はやや減少で4年連続減少。
- 農(74)**は、大幅減少で前年度3年ぶりの増加から再び減少。学科別では、全ての学科で大幅減少。方式別では、特に<前期B>(61)の大幅減少が目立った。
- 生物理工(75)**は、大幅減少で4年連続減少。学科別では、(生命情報工)(67)、(遺伝子工)(68)、(医用工)(72)、(生物工)(77)、(人間環境デザイン工)(81)が大幅減少。(食品安全工)(89)は、前年度大幅減少の反動はなく3年連続減少。

<共通テスト利用方式>

- 文芸(117)**は、大幅増加だが、新規実施方式を除くと(77)の大幅減少。学科・専攻別では、(文化デザイン)(159)、(文/英語英米文)(127)、(芸術/造形芸術)(118)、(文/日本文)(117)が大幅増加、(文化・歴史)(104)がやや増加。しかし、新規実施方式を除くと(文化デザイン)(100)は前年度並、新規方式を実施しない(芸術/造形芸術)(118)は大幅増加、他の4学科

は全て減少。

- 法(113)は、大幅増加だが、新規実施方式を除くと(81)の大幅減少。
- 経済(109)は、3年ぶりの増加だが新規実施方式を除くと(78)の大幅減少。学科別では、(経済)(117)が大幅増加、(総合経済政策)(111)が増加で。(国際経済)(86)は3年連続減少。
- 経営(117)は、大幅増加だが、新規実施方式を除くと(84)の大幅減少。学科別では、(経営)(121)、(会計)(119)、(商)(118)が大幅増加、(キャリア・マネジメント)(103)はやや増加。
- 総合社会(152)は、系統への人気は低下しているが前年度大幅減少の反動で大幅増加、新規実施方式を除いても(108)の増加。学科・専攻別では、(総合社会/環境・まちづくり系)(179)、(総合社会/社会・マスメディア系)(151)、(総合社会/心理系)(135)と3学科全てで大幅増加。
- 国際(88)は、減少で2年連続減少。新規実施方式を除くと(74)の大幅減少。学科別では、(国際/東アジア)(102)は前年度並、(国際/グローバル)(85)は大幅減少。
- 工(121)は、大幅増加で4年連続増加だが、新規実施方式を除くと(87)の減少。
- 産業理工(91)は、減少で前年度2年ぶりの増加から再び減少。新規実施方式を除くと(67)の大幅減少。唯一微増の(建築・デザイン)(101)だが、新規実施方式を除くと(75)の大幅減少。
- 理工(116)は、大幅増加で5年連続増加だが、新規実施方式を除くと(87)の減少。学科別では、全ての学科で増加。
- 建築(149)は、大幅増加で、新規実施方式を除いても(103)のやや増加。
- 医(74)は、大幅減少で前年度の増減による反動が継続。方式別では、<後期>(111)は増加、<前期>(67)、<中期>(75)はいずれも大幅減少。
- 薬(103)は、系統への人気は低下しているが2年連続減少の反動でやや増加。学科別では、(医療薬)(104)がやや増加で3年ぶりの増加。(創薬科学)(101)は、前年度増加の反動はなく前年度並。
- 農(113)は、増加だが、新規実施方式を除くと(88)の減少。学科別では、全学科が前年度と逆の増減で、(生物機能科学)(89)のみ減少。
- 生物理工(121)は、大幅増加だが、新規実施方式を除くと(98)の前年度並。学科別では、唯一減少の(遺伝子工)(97)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少に留まった。